

# 2020年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2020年11月16日

## 株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

# サマリー

2020年12月第3四半期は前年比85.2%減収 16億円営業損失  
為替差損450百万円を計上し20億円経常損失

新型コロナウイルス感染症の影響による減収減益  
収束時期は依然として不透明

## 構造改革

免税事業、周遊観光バス「くるくるバス」の廃止  
(連結子会社の解散・清算)を決定

国内需要の取り込み  
営業強化

## 2020年12月期3Q 損益計算書

**COVID-19の影響による低迷に加え為替差損450百万円、減損損失111百万円が発生**

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2019/12		2020/12 前期比			
	3Q	構成比	3Q	増減	伸率	構成比
売上高	<b>5,534</b>	100.0	<b>816</b>	△ 4,718	△ 85.2	100.0
売上原価	<b>1,774</b>	32.1	<b>509</b>	△ 1,265	△ 71.3	62.4
売上総利益	<b>3,760</b>	67.9	<b>307</b>	△ 3,452	△ 91.8	37.6
販管費	<b>3,254</b>	58.8	<b>2,004</b>	△ 1,249	△ 38.4	245.6
うち人件費	<b>1,107</b>	20.0	<b>629</b>	△ 478	△ 43.2	77.1
営業利益	<b>505</b>	9.1	△ <b>1,697</b>	△ 2,202	-	△ 208.0
経常利益	△ <b>684</b>	△ 12.4	△ <b>2,062</b>	△ 1,378	-	△ 252.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ <b>479</b>	△ 8.7	△ <b>2,286</b>	△ 1,808	-	△ 280.1

売上原価
・バス事業：△833百万円
・免税事業：△287百万円

販管費
・旅行事業：△184百万円
・バス事業：△107百万円
・免税事業：△894百万円
・ホテル事業：△88百万円
（札幌大通ホテルの販管費 +272百万円）

営業外費用
・為替差損 450百万円

特別損失
・旅行、バス事業の構造改善 61百万円
・減損損失 旅行・バス事業 111百万円

為替rate	期末rate
JPY/100KRW	8.99

参考	期末rate	期首rate
	9.08	9.46

## 2020年12月期3Q セグメント別

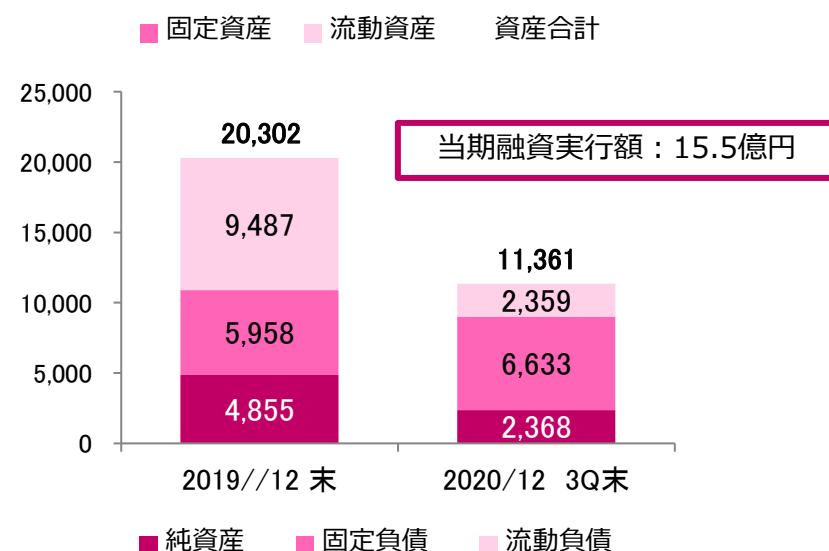
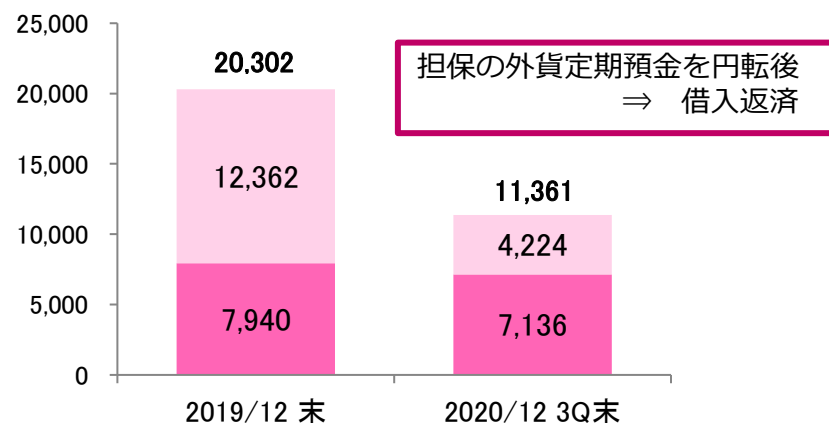
単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2019/12 3Q	2020/12 3Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高	1,804	130	△ 1674	△ 92.8	15.9
	セグメント利益	477	△ 287	△ 764	—	16.9
	利益率	26.4	—	—	—	—
バス事業	売上高	1,619	191	△ 1,428	△ 88.2	23.4
	セグメント利益	156	△ 330	△ 486	—	19.4
	利益率	9.6	—	—	—	—
免税販売店事業	売上高	1,461	99	△ 1,362	△ 92.5	12.1
	セグメント利益	37	△ 142	△ 179	—	8.4
	利益率	2.5	—	—	—	—
ホテル等施設運営事業	売上高	1,440	456	△ 984.0	△ 68.4	55.9
	セグメント利益	185	△ 676	△ 861.0	—	39.8
	利益率	12.8	—	—	—	—
その他	売上高	167	39	△ 128	△ 77.0	4.8
	セグメント利益	△ 33	5	38	—	△ 0.3
	利益率	△ 16.8	12.8	—	—	—
小計	売上高	6,494	916	△ 5,578	△ 85.9	112.3
	セグメント利益	822	△ 1,432	△ 2,254	—	84.4
	利益率	12.7	—	—	—	—
調整等	売上高	△ 959	△ 100	859	89.6	△ 12.3
	セグメント利益	△ 316	△ 265.0	51	—	△ 32.5
	利益率	—	—	—	—	—
合計	売上高	5,534	816	△ 4,718	△ 85.3	100.0
	営業利益	505	△ 1,697	△ 2,202	—	100.0
	利益率	9.2	—	—	—	—

## 2020年12月期3Q 貸借対照表

当期融資実行額 15.5億円 Cash残高 37億円 外貨定期預金の円転（為替リスク解消）

単位：百万円（百万円未満切捨て）



流動資産		4,224 (△8,137)
■ 現金及び預金	3,786 (△6,926)	外貨担保の借入返済 他
■ 売掛金	48 (△792)	
■ その他流資	172 (△285)	消費税の還付△272

固定資産		7,136 (△804)
■ 有形固定資産	5,718 (△636)	いとか-事業譲渡、減損
■ 投資その他	1,273 (△146)	敷金△121 繰上償却△45

流動負債		2,359 (△7,128)
■ 営業未払金	6 (△329)	
■ 短期借入金	1,515 (△6,179)	外貨担保の借入返済 他
■ リース債務	249 (△157)	いとか-事業譲渡による減少

固定負債		6,633 (△674)
■ 長期借入金	1,415 (+930)	
■ リース債務	5,009 (△176)	いとか-事業譲渡による減少

純資産		2,370 (△2,485)
■ 資本金	1,022	
■ 資本剰余金	966	
■ 利益剰余金	535 (△2,503)	配当△217 当期利益△2,286

## 2020年12月期 業績予想 未定

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に消費や企業の経済活動が停滞し、各国では海外渡航制限等の措置がとられ、訪日外客数が前年を大きく下回る状況が続いております。現時点では新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないこと、事業構造改革など不確定要素が存在することなど、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2020年12月期の連結業績予想未定とさせていただき、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

## 2020年12月期 配当は無配

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題であると認識しております。剰余金の配当については、業績の推移を見据え、将来の事業の進展と財務基盤の強化のための内部留保とのバランスを保ちながら経営成績や配当性向等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としております。

業績予想については前述のとおり未定といたしますが、大幅な収益の減少を見込んでおり、財務基盤の安定化が急務であると考え、2020年12月期末の配当につきましては、無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配ができるよう努めてまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2020年12月期3Q セグメント別の取り組み

	3Qの主な取り組み	4Qの主な取り組み
旅行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 要員削減、営業拠点の統廃合</li> <li>▶ 営業仕入部新設 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高級ホテル・旅館の仕入れ強化</li> </ul> </li> <li>▶ GO TO キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> <li>- 在日外国人を含めた国内需要取り込み</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ GO TO キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国内旅行、ビジネスユースへの営業強化</li> </ul> </li> <li>▶ インバウンド回復見据え <ul style="list-style-type: none"> <li>- 訪日観光VTR等プロモーション準備</li> <li>- FIT対応の強化</li> </ul> </li> </ul>
バス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業一時休止</li> <li>▶ 10月より、事業再開へ向け <ul style="list-style-type: none"> <li>- 営業拠点の選択・集中</li> <li>(2～3 拠点へ絞り込み検討)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 10月より、東京・大阪 事業再開</li> <li>▶ 航空会社クルー送迎便の獲得</li> <li>▶ 国内AGTへの営業強化</li> <li>▶ くるくるバスの廃止を決定</li> </ul>
免税販売店事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市場回復まで必要最低限の人員体制維持</li> <li>▶ 免税品の車内販売への参入準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業廃止を決定</li> </ul>
ホテル等施設 運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Tmark city Sapporo一時休業</li> <li>▶ 東京大森 - テレワーク需要の取り組み 賃貸料等固定費の減免・猶予など交渉</li> <li>▶ 札幌・大通 - 道民割、札幌夏割活用 キャンペーン実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 東京大森 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 航空会社クルー需要の取り組み</li> </ul> </li> <li>▶ 京都 新規開業に向け <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国内需要取り込みのため営業強化</li> <li>- 賃貸料等固定費の減免・猶予など交渉</li> </ul> </li> </ul>

# ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6402-4411

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>